

## 第12回理事会 議事録

### 一般社団法人 尾道青年会議所 2021年度第12回理事会（新旧）議事録

日時:2021年11月8日(月) 19:00～

場所:尾道国際ホテル

(出席者)安楽城大作・加度亮平・今岡正英・高橋建太・歌一行・加藤雄大・島田元太・吉田雄太・高升純・内海洋平・森川陵・大池慎三・沼田剛志・島田昌広・岡本大輔・山本恭平・高山敦好・吉田嵩正・岡本正也・小西琢真・中島裕一郎・加藤雅崇・水野春樹

(欠席者) なし

(遅刻) なし

(早退) なし

(オブザーバー) 大西貴明・安保大輔・高垣悟・村上康・村橋聡・平岡良平・村上直弘・半田祐喜・沼尾一

#### 次第

1. 開会（歌一行）
2. 点鐘：（安楽城大作）
3. JCI クリッド唱和：（沼田剛志）
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和：（高山敦好）
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和：（中島裕一郎）
6. 出席者の確認：（加藤雄大）
7. 配付資料の確認：（歌一行）
8. 議事録署名人名並びに議事録作成者の指名：（安楽城大作）
9. 議題の確認：（歌一行）
10. 理事長挨拶：（安楽城大作）

最後の理事会に全員出席していただきありがとうございます。

本年度の事業は皆さんと一緒にできたと感じています。

コロナウイルスの影響で活動できない期間もありましたが、例会にしても合同委員会にしても出席率も高く、ご協力いただきありがとうございました。

本年度の感想と、次年度へのお願いを申し上げ、理事長挨拶とさせていただきます。

まず、今年一年を通して、理事の皆さんには何かしらの成長を感じていただければと思います、挨拶などおこなってきました。

私も10年以上在籍し、色々な先輩方から御指導いただいていたこともあり、その恩返しのためにという思いでやってまいりましたが、振り返ってみると自分自身、すごく勉強ができたと思えました。

## 第12回理事会 議事録

一番それを感じたのが8月、9月頃でした。

夏期講習が開催できないということになったときに、今年はまだ活動が難しいかもしれないと感じておりました。

尾道市でも感染が広がり、まちだけでなく、私自身も悲観的になっていたところがありました。

そんな中、各委員会がしっかり準備を進めてくれて、8月の正副の上程をしてくれました。

先の状況が見えない中、私自身は「やると決めたらやる」という感覚でいましたが、そういうやり方ではなく、心配している人をどういう風に説得していくか考えないと、会としての結束力は強くないのではないかという意見をいただきました。

それを受け止め、9月の理事会でどうやって事業をおこなっていくのか、理事全体で考えようと提案したところ、皆さんから意見をいただき、話し合ったことで、皆さんに自分事として捉えてもらえたと感じました。

あれがあったことで、今年何事にも積極的に本気で取り組めたのではないかと考えています。

ただ「やればいい」ということではなく、会としての方向性を定め進んでいくことが重要なのだと勉強になりました。

そして緊急事態宣言があけて、無事に事業を行うことができ、安堵の思いでいます。

最後、卒業例会を残すのみですが、きっちり締めて、有意義に1年間を終わらせたいと思いますので、よろしくお願いします。

来年は今岡理事長の下、65周年という節目の年になります。

今は落ち着いていますが、コロナウイルスを無視して事業構築を行うのは難しいだろうと予想されます。

それを踏まえてどうやって、やっていくのか悩まれることもあるかと思いますが、今年の経験をからアドバイスさせていただきますと、まずは「芯」を作ること。

自分が何をしたいのか、それをぶらさないようにやっていければいいのではないかと思います。

今年の理事会でも感じましたが、軸が一つないと議論が難しいです。

委員長が何をしたいのか、わかってする議論とそうでない議論は内容が変わってきます。まずは軸を決めてしっかりやってほしいと思います。

最後に、改めて一年間ありがとうございました。

来年も皆様には会を引っ張ってほしいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

11.直前理事長挨拶（加度亮平）

皆様、一年間お疲れさまでした。

## 第12回理事会 議事録

コロナウイルスの影響で色々大変な一年間であったと思います。

そんな中でも、こうやって事業を実施できたことに敬意を表したいと思います。

悔しい思いをしたかとも思いますし、どこに不満をぶつければいいのかわからなかったこともあったかとも思います。

そんな中でも、会として雰囲気は良くなったと感じる瞬間がありました。

それは「やる」となった時に、みんなが結束してやっている姿を見たときです。

難しい状況でもあれだけのことができたというのは、理事メンバーが気遣いをしながら行動ができた証明ではないかと思います。

これから理事を外れる方もおられますが、皆さんが経験したことは次年度以降の理事にも役立つ経験ですので、あまり気を抜かず引き続き会に協力してほしいと思います。

次年度の理事の皆さんはなかなか難しい状況に置かれるのではないかと思います。

コロナウイルスと2年付き合っており、模索しながら事業を構築し、オンライン等活用し例会も構築してきました。

ですので、「コロナウイルスだから活動ができない」というのが通用しない年になるかとも思います。

色々考えることが多くて大変かとは思いますが、委員会内の理事経験メンバーや、経験のある人を頼り、やっていってほしいと思います。

私も今年で卒業ですが、17年間在籍した団体ですので、これからも気になる団体であり続けると思います。

これからもカッコいい団体であり続けてほしいと思いますので、是非頑張ってくださいと思います。

12. 理事長報告：（安楽城大作）

13. 委員会報告：

【社会開発室】（歌一行）

「未来ビジョン委員会」（内海洋平）

委員会報告は記載のとおりです。

本日は審議事項が2件ございます。

よろしく申し上げます。

「社会開発委員会」（大池慎三）

委員会報告は記載のとおりです。

本日は審議事項が1件ございます。

よろしく申し上げます。

【指導力開発室】（吉田雄太）

「地域教育実践委員会」（島田昌広）

委員会報告は記載のとおりです。  
本日は審議事項が1件ございます。  
よろしく申し上げます。

「組織活性化委員会」（山本恭平）

委員会報告は記載のとおりです。  
本日は審議事項が3件ございます。  
よろしく申し上げます。

【JC 運動推進室】（歌一行）

「拡大研修委員会」（吉田嵩正）

委員会報告は記載のとおりです。  
昨日はクリスマス会に参加いただきありがとうございました。  
本日は審議事項が1件ございます。  
よろしく申し上げます。

「総務広報委員会」（小西琢真）

委員会報告は記載のとおりです。  
本日は審議事項が1件ございます。  
よろしく申し上げます。

#### 14. 審議事項：

第1号議案 会員拡大の調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件  
（吉田嵩正）

資料読み上げ（1-1, 1-2）

予算説明（1-4）

差異が生じた部分に関して説明いたします。

まずJC賞状を啓文社で購入予定でしたが、JCの賞状を使用したため435円の差異が生じました。

次に、賞品のウイスキーに木箱がついておらず、箱の購入と、写真にて確認するためにお金が発生し、1,870円の差異が生じました。

また、異業種交流会は中止としましたので、17,985円差異が生じました。

最後に、資料作成の部分で3,755円差異が出ました。

拡大報告書 総括読み上げ（1－5）

以上、慎重なる審議をよろしくお願いいたします。

（山本恭平）

拡大報告書の考察『OB 訪問』の欄に OB からいただいた拡大活動のノウハウで、吉田委員長が一番重要だと感じたことについて教えてください。

（吉田嵩正）

拡大活動に答えはないので、一番はありませんが、話を伺った先輩方はそれぞれ成功ケースをお持ちでした。

人によって得意不得意があり、やり方は様々ですが、共通して大事にするべきなのは「OBを頼ること」「若手を同行すること」「会全体の雰囲気を作ること」であると思います。

（高山敦好）

メンバー全体ラインが必須と書かれていましたが、作成する事でのリターンと、リスクについてどう思われましたか？あった方がよかったですか？

メールではダメだったのでしょうか。

（吉田嵩正）

ラインのほうがより雰囲気作りができると感じています。

リスクはモラル面であると考えます。これは最初にお願ひしたように、それぞれで守っていただくしかないと考えます。

リターンは全体の情報共有であると思います。

（高山敦好）

私もその一人であるのですが、委員長とか理事にならない限り拡大に当事者意識が芽生えないなど、悔しいですが、思ってしまう。

よく言われるのが一人が一人拡大すれば倍増です。

今後当事者意識を芽生えさせるために、何が足りないのか、何があったらいいのか、委員長なりに教えてもらえれば幸いです。

（吉田嵩正）

足りないのは拡大活動の経験であると思います。

## 第12回理事会 議事録

若手に苦手意識が生じないうちに、拡大活動に巻き込めればよいと思います。  
また、みんなが自分事として取り組まないといけないという雰囲気づくりもとても大切だと感じました。  
委員会周りを一回しましたが、もっと行い、拡大活動を頑張っているところをアピールしてもよかったのではと思っています。

(高山敦好)

考察でもありましたが、拡大で夏期講習の余興を罰ゲームとして扱うのは、個人的にあまりよくないと思っています。  
規制からはモチベーションが上がらないケースが多々あります。  
罰ゲームが嫌で拡大をする人も少ないのではないかと思います。  
拡大研修委員会に配属された職務として、拡大研修委員会が青年会議所を盛り上げる余興(芸をすという事ではなく、場を楽しませる)こそが、拡大研修委員会に配属された学びであると考えていますがいかがでしょうか。

(吉田嵩正)

これまでのやり方を踏襲したため、強い思い入れはありませんでした。  
罰ゲームに関しては、夏期講習の新入会員の紹介の前に行い、話しやすい雰囲気を作ることが第一目的であると思います。  
次年度の拡大委員会でよく考え、引き継ぐのかどうか決めてもらいたいと思います。

(高山敦好)

尾道青年会議所の良さを感じる必要があると思いますが、委員長の感じる尾道青年会議所ならではの良さを教えてください。

(吉田嵩正)

礼儀はあれど、会社の大きさなどで壁はなく和気あいあいとした会であると感じています。  
大人が本気で笑って、本気で泣ける会であるところが魅力であると思います。

(高山敦好)

今年度入会していただいたメンバーに対して、委員長の想いを教えてください。

(吉田嵩正)

新入会員が「子」であれば、私は「親」だと思っています。  
しっかり応援、サポートしてまいります。

\*全会一致で承認。

第2号議案 夏期講習 事業報告(案)決算(案)に関する件

(山本恭平)

資料読み上げ(2-1, 2-2)

予算説明(2-3)

差異についてですが、実行しておりませんのでお金を使っておりません。

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

(安楽城大作)

中止になった場合の資料として素晴らしいと思います。

今後を引き継げる貴重な資料であると思います。

\*全会一致で承認。

第3号議案 10月例会 事業報告(案)決算(案)に関する件

(内海洋平)

資料読み上げ(3-1, 3-2)

予算説明(3-4)

差異は特にございません。

考察説明(3-8)

以上、慎重なる審議をよろしく申し上げます。

(高山敦好)

所見からですが、まさに相談されたことを行っていく事が青年会議所ではないと思います。

「青年会議所の価値観」をベースに組み立てるこそが、メンバーの役割であり、その価値観が違ふと感ずるのであれば、その価値観を根底から変える努力が必要であると思ひます。

## 第12回理事会 議事録

青年会議所に属する限り青年会議所の「希望をもたらす変革の起点として、輝く個性が調和する未来を描き・・・」と先駆者となり新たな価値への挑戦が活動テーマではないと思います。

これまでの歴史で、「尾道青年会議所の価値観」で一つ一つの事業単位で、失敗も多くあるかもしれませんが今もなお、引き続き継続されてる事が多くあります。所見とJC宣言や綱領との整合性を教えてください。

(内海洋平)

表現が悪かったと思っています。

これまでの青年会議所の活動が悪かったというわけではなく、一つの考え方として捉えて欲しいという思いでこういう表現になりました。

今後の柔軟な活動の一助になればと感じています。

(高山敦好)

回答者数38名に対して、回答数が30名となり、21%以上の人が、何故回答がなかったのでしょうか。

(内海洋平)

本例会だけでなく、これまでも例会の回答率は概ね80%程度で推移してきています。会全体の問題であると感じています。

会員の意識の向上はもちろんですが、入り口で回収するなど何か工夫があればよりよいかと思えます。

(高山敦好)

アンケートは今後にも生かせる財産なので、なんとして回収するという姿勢で臨んでいただけだと思います。

\*全会一致で承認。

第4号議案 活気溢れるまちづくり事業の調査・研究・実践 事業報告(案)決算(案)に関する件

(内海洋平)

資料読み上げ(4-1, 4-2)

予算説明(4-4)

## 第12回理事会 議事録

差異が出た部分に関してですが、バルーンの買い足しがあり、1,900円の差異が生じております。

委員長所見読み上げ（資料4-5～4-7）

以上、慎重なる審議をよろしく申し上げます。

（山本恭平）

風船の打ち上げで、シミュレーションと当日で一番相違が出たものは何でしょうか。また、シミュレーション通りに打ち上げる為に必要だったことがあれば教えてください。

（内海洋平）

一番相違があったのは風向きが違ったことでした。屋外なので、なかなかシミュレーション通りにはいかないと感じました。

（島田昌広）

シミュレーションと違ったということでしたが、資料にシミュレーション時の写真などあれば、より良かったと感じました。

（高山敦好）

訪問リストに当社もありましたが、来館されていませんでした。審議上程にあるリストは回れなかったという事ですか。

（内海洋平）

報告書にも記載しましたが、印刷物がポスターが50部、配布が1000部で数が足りなくなり、周り切れないところが出てしまいました。

（高山敦好）

審議で通ったことなので、達成すべきだと思います。理由はわかりましたが、ただの言い訳だといわれても仕方のないように思います。

（内海洋平）

達成できなかったことを反省しています。それを補うような知恵を出すべきだったと思います。

（高山敦好）

## 第12回理事会 議事録

「前向きに楽しく」、楽しく事業当日を行おうという行動はすごく感じました。  
しかし、お酒と事業について、今一度青年会議所として考える必要があると感じました。  
コロナ禍という事でより一層お酒に関して敏感になるべきと思います。  
対外という事、長時間の事業であること。  
失敗より、事故の方が取り返しのつかない問題になります。危機管理を考える理事メンバーは特に考える必要があると思います。  
事故なく成功して終わった後のお酒こそが、楽しく美味しいと思います。

また、厳しい話ですが、この度の事業に対して理事会は何を見ていたんだという話を言われます。その意見に対して、どのように思いますか。

(内海洋平)

当日の雰囲気はいき過ぎたところがあったかもしれません。  
自覚をもってやっていきたいと思います。  
また、準備段階の話ですが、理事会で頂いた意見を受け止め修正してきたつもりでしたが、反省したいと思います。

(高山敦好)

この反省を、是非未来に活かして頑張ってください。

\*全会一致で承認。

第5号議案 災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践 事業報告(案)決算(案)  
に関する件  
(大池慎三)

資料読み上げ(5-1, 5-2)

予算説明(5-4)

差異が出た部分に関して説明いたします。  
まず、ダンジョンを組んでくれた(株)リョーキ様が、活動方針に賛同していただき、お金は  
いらぬという風に言っていただきました。  
そのため、ダンジョン作成代が110,000円差異が出ております。  
また、当日使用したシートや手袋は私物を使用したため、1,320円の差異が生じて  
おります。  
以上、慎重なる審議をお願いします。

## 第12回理事会 議事録

(小西琢真)

ダンジョン作成費に関してですが、また大池委員長を通してお願いすれば安くなるということなのでしょうか。

今後の参考にお聞かせください。

(大池慎三)

今回の件は、特例中の特例であり、絶対に安くなるというものではないと考えてほしいと思います。

(島田昌広)

事業実施中にヒヤットするような場面はなかったでしょうか。

(大池慎三)

送風機の強さや、子供たちがつまづくようなことがないか心配していましたが、当日はメンバーのフォローがあり、そういう場面はありませんでした。

(山本恭平)

親御様のアンケートに、次回開催を期待される回答が多く出ていますが、次年度以降実施する場合にバージョンアップできる要素などがあれば教えてください。

(今回取り入れた災害の疑似体験以外で 必要性があるものや、構想段階で考えていたもの等)

(大池慎三)

「地震体験」や「水圧体験(扉が水圧でどれくらい重たくなるか)」などは候補に上がっていました。

(高山敦好)

得られるものがあったという回答が100%と、すごいと思います。

逆にイベント参加に対して「いいえ」3%とか、友達に教えてあげたくない2%は、どんな人ですか？

(大池慎三)

あくまでも予想ですが、大人のアンケートに子供が回答しているケースがあったので、それではないかと思います。

## 第12回理事会 議事録

(高山敦好)

「またやってほしい」という声が出る事でとてもうれしいです。所見にある「メンバーを巻き込めなかった」理由を教えてください。

(大池慎三)

私自身 PC が苦手で、四苦八苦しながら予約システムなどを構築しましたが、ぎりぎりになってメンバーにお願いしました。

快く協力してもらい、そこで初めて、見えなかったメンバーの得意なことなどが見えました。

もっと早くをお願いをしていればという気持ちがあり、そういう表現になりました。

(高山敦好)

様々な問いに対して「はい」と答えて頂いた方は自身の想定、想いの中であり、その中でも届かなかった人の想いについて、委員長がどう感じるのか教えて頂きたい。

(大池慎三)

フリガナをつけるなど工夫できることがあったのではないかと悔しい思いです。

もう少し参加者の気持ちに立てればよかったと思っています。

(吉田嵩正)

合計で163組入場されたということですが、コロナ対策を行ったうえで、MAXでどれくらい入場できそうだと感じましたか。

(大池慎三)

県の対策で上限が1000名ということはありますが、同じ時間で行った場合、MAXでも200組弱程度ではないかと思っています。

\*全会一致で承認。

第6号議案 次代につなげる組織づくり事業の調査・研究・実践 事業報告(案)修正予算(案)に関する件

(山本恭平)

資料読み上げ(6-1, 6-2)

予算の説明(6-3)

## 第12回理事会 議事録

差異の生じた個所について説明いたします。

まず収入の部ですが、協賛金が200,000円多くいただき差異が生じております。

次に、支出の部に関してですが

人件費支出が-16,000円。司会の2人に8,000円ずつお支払いしました。

会場費支出が+11,719円。備後運動公園様への駐車場代がなくなりました。

設営費支出が、+11,460円。照明代を会場費支出に入れ込みました。

企画演出費支出が-561,642円。式典の際のレッドカーペット、花、ポスター、パネル等、資料記載の諸々を追加購入したのと、バスラッピングの2台目をお願いし、大きな差異が生じております。

広報費作成費支出が-5,500円。写真投稿マニュアルの構築費がかかりました。

資料作成費支出が+345円。部数が285組→262組に変更しました。

雑費支出が-7,800円。収入印紙や、音響用備品を購入しました。

以上、慎重なる審議をよろしく申し上げます。

\*全会一致で承認。

第7号議案 次代につなげる組織づくり事業の調査・研究・実践 事業報告（案）決算  
（案）に関する件  
（山本恭平）

資料読み上げ（7-1～7-4）

資料説明（7-7～7-20）

以上、慎重なる審議をよろしく申し上げます。

（森川陵）

素晴らしい報告上程です。

協賛を貰う上で大切だったことを教えてください。

（山本恭平）

足を運び、直接気持ちを伝え、お願いすることが重要であったと思います。

またその際は資料を用意するなど、丁寧なアプローチが必要であると思います。

\*全会一致で承認。

第8号議案 次世代教育事業の調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件  
（島田昌広）

資料読み上げ（8-1～8-3）

予算説明（8-5）

当日の備品諸々で、あるものを使えた物がいくつかあり、差異が生じております。  
また、写真の現像も沢山あり、割引していただき、差異が生じております。

アンケート説明（8-6～8-8）

8-6の「4」「5」で、「すこしわかった」と回答された子が何名かおられたのが反省点です。

複数学年が集まったの講義だったので、年齢が低い子にもわかるように、より配慮して組み立てられれば良かったと思います。

また、アンケートには子供たちがしっかり記入してくれました。

一部抜粋して載せておりますが、それぞれの企業に対して子ども達の理解が深まったり、身近に感じてくれたのがわかります。

こういうことから、本事業が成功できたのだとわかります。

どれも丁寧に書き込んであり、メッセージカードを行って良かったと思います。

御礼と当日の資料説明（8-10～8-33）

御礼のご訪問に伺った際の写真や、当日の資料を載せておりますので、今後社会見学を行う際に参考にしていただければと思います。

実施～当日の様子説明（8-34～8-38）

事業実施に至までの背景や、各企業様の選定理由や、先方からのご要望などを記載しております。

また、事業を終えての対応も、8-36に細かく載せております。

最後に、保護者の方から御礼のメールをいただきましたので、読み上げさせていただきます。

「先日はバスツアーありがとうございました。

また、写真を送っていただき感謝です。

親から離れ、子どもだけでバスツアーを体験したことも、仕事の経験ができたことも、とても良い経験になりました。

## 第12回理事会 議事録

本人もとても楽しかったと言っていました。

ご準備、運営等大変だったかと思えます。

いつか息子も、人のために動ける大人になってくれたらと思えます。

また機会があれば是非参加させていただきたいです。

寒くなりますので、皆様お体ご自愛いただき、益々のご活躍をお祈りしております。」

という内容でした。

自分のお子さんがどういう体験をできたかに加えて、青年会議所のメンバーの姿を見て、

「こういう大人になって欲しい」という言葉に感動しました。

「こういう人達がいれば、まちが活気づく」という風に今後も思ってもらえる活動をしていければ、尾道青年会議所の存在意義も確固たる物になるのではないかと考えています。

以上、慎重なる審議をよろしく申し上げます。

(高山敦好)

実筆のアンケート添付は説得力が高くなり、涙がでると思えます。今後もどの事業もそのようにすべきと考えますが、いかがでしょうか。

(島田昌広)

思いを文字に書いて伝えることの大切さを感じました。

ペンもいろいろな色を用意するなど工夫しました。

今後の参考になればと思えます。

(高山敦好)

委員会メンバーがリハーサル以上の力を発揮してくれたとありますが、その理由は所見には記載がありますが、書ききれなかった部分がありますか？

(島田昌広)

子供たちに引っ張ってもらった部分も大きいと思えます。

真剣に話を聞いてくれたことがメンバーの力になったと思えます。

メンバーもリハーサルを重ねた結果、本番を迎えても緊張ではなく、アドレナリンを出し対応できました。

(高山敦好)

コロナ禍で人数が絞られてしまいましたが、この度の事業は何倍まで人数を増やせると思えますか？

## 第12回理事会 議事録

(島田昌広)

企業数を増やす、参加の学年を増やす、など工夫はできると思います。  
各バスに2名ずつメンバーが必要ですので、30名のバス×3台で90名ほどが限界ではないかと思います。

(高山敦好)

JCの事業は小学生を対象にするものが多い印象ですが、中高生を対象にしえる事業だと考えますか。

(島田昌広)

学びのレベルを上げれば可能であると考えます。

\*全会一致で承認。

(\*加度良平卒業予定者、高山敦好卒業予定者が退場)

第9号議案 卒業例会 事業計画(案) 予算(案)に関する件  
(小西琢真)

資料読み上げ(9-1~9-4)

予算説明(9-6)

新たに「生花」「レッドカーペット」「アルバム」を購入するため、予算が増額しております。

そこも踏まえて審議のほどよろしく願いいたします。

同線図説明(9-13~9-21)

以上、慎重なる審議をよろしく願いします。

(山本恭平)

レイアウトでは、答辞者用マイクとレッドカーペットがステージ下になっていますが、卒業生はステージには上がらず、答辞をされるイメージでよろしいでしょうか。

もしステージ下で答辞をされるなら、着席(見る側)している人から卒業生が見えなくなってしまう可能性が考えられます。

## 第12回理事会 議事録

(小西琢真)

卒業生はステージに上がって答辞をいたします。  
資料がわかりにくく、申し訳ございません。

(山本恭平)

代表答辞の時は、代表答辞者はステージ下、その他の卒業生はステージに立つレイアウトになっていますが、全員壇上に上がっていただいた方がいいのではないのでしょうか。

(小西琢真)

全員登壇して代表答辞を行ってまいります。

(内海洋平)

しっかり準備をして臨んでほしいと思います。  
エールです。

(\*加度良平卒業予定者、高山敦好卒業予定者が再入場)

\*全会一致で承認。

第10号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2022年度 役員承認に関する件  
(今岡正英)

\*全会一致で承認。

第11号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2022年度 委員会事業計画(案)並びに予算(案)に関する件  
(今岡正英)

\*全会一致で承認。

第12号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2022年度 一般収支予算(案)に関する件  
(今岡正英)

\*全会一致で承認。

## 第12回理事会 議事録

第13号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2022年度 特別会員への入会（案）  
に関する件  
（今岡正英）

\*全会一致で承認。

第14号議案 例会・総会の設営及び運営【1月例会開始時間の変更】事業計画（案）に  
に関する件  
（今岡正英）

\*全会一致で承認。

第15号議案 新年例会 事業計画（案）に関する件  
（今岡正英）

\*全会一致で承認。

（第10号議案～第15号議案まで、一括で審議上程）

15. 協議事項：（安楽城大作）  
無し

16. 報告依頼事項：（歌一行）  
特に無し。

17. 連絡事項：（加藤雄大）  
12月20日（月）17：00が次回上程締め切りになります。  
よろしくをお願いします。

18. 監事講評：  
（今岡正英）

安楽城理事長をはじめとする、本年度理事メンバーの皆様、大変お疲れ様でした。  
総務広報委員会の皆様は、卒業例会が残っておりますので、しっかりと準備をお願いいた  
します。

今年一年間、特に委員長の皆様は苦勞された一年であったと思います。  
通常であれば実行できないことができない。

実行できそうになっても反対意見が出る。

そういう難しい状況の中での事業構築であったと思います。

皆様は数年後には、委員長を受け持つ立場になられると思います。

その際に、反対意見が出る中でも実行するという経験を活かして、しっかりサポートしてほしいと思います。

また、11月に対外事業を行いました、その際は多くのメンバーが協力して事業を構築し、反響も多くいただき、非常に良い流れを作ってもらいました。

次年度はここにいる委員長の皆様は、副委員長になられる方が多くおられます。

副委員長になられない方でも、しっかりとサポートをしてくれるだろうと期待しております。

次年度も活躍していただきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

一年間大変お疲れ様でした。

以上、監事講評とさせていただきます。

(高橋建太)

2021年度、最後の理事会ということで、皆様大変お疲れ様でした。

最後なので少し話させていただきます。理事の皆様にとって安楽城理事長の掲げる「粋」な1年となりましたでしょうか？

やりきったという想いの方もいれば、やり残したことがあると考えている方もいると思います。どのように感じていたとしても2021年度に理事をやったから経験できたことばかりです。成功したことや失敗したことがあったとしても、経験値は積み重ねているので人生にとって必ずプラスになっているはずです。

私もそうでしたが、理事をやらなければ経験できなかったことも多くあったと思いますし、理事をやったからこそ人生の幅を広げることにも繋がったと思います。理事をやり切ったということ自信にいただき、今後に繋げていただければ幸いです。

また、本日、2022年度の理事予定者も参加しています。2021年度理事としての経験をしっかりと次年度に引き継いで、冒頭、安楽城理事長が仰られたように次年度理事予定者の方はぶれない軸を持っていただき、2021年度同様に次年度も素晴らしい事業を展開していただければと思います。

最後になりますが、今年、経験したことを地域、社業、家庭へフィードバックしていただき皆様の更なるご活躍をお祈りして最後の監事講評とさせていただきます。

1年間、本当にお疲れ様でした。

19.次回開催日の確認：(歌一行)

2022年1月7日 19:00～ 国際ホテルにて

20.閉会：（歌一行）

今理事会が今年最後になりますので、最後に一言ずつ頂いて、閉会したいと思います。  
順次よろしく願いいたします。

（島田元太）

副理事長という大役を頂き、ありがとうございました。  
色々な役をやってまいりましたが、学びの多い一年間になりました。  
残り2年間、今年学んだことを活かして頑張ってまいります。  
一年間どうもありがとうございました。

（吉田雄太）

感謝しかない一年間でした。皆様ありがとうございました。  
一つだけお伝えしたいことがあります。  
この理事会を通して、事業が構築されていきますが、ずっと思っていたのが「もっと泥臭くやっていけばいい」ということです。  
綺麗に収めようとしすぎず、委員長らしさという固定概念も捨てて、汗をかいて、ともに涙を流してやっていければいいと思います。  
来年は65周年実行委員長という立場で皆様の力をお借りしないといけません、是非このことを心に刻んでいただき、今岡理事長を盛り立てていきたいと思ひます。  
一年間ありがとうございました。

（高升純）

副理事長という大役を頂きありがとうございました。  
今思えば、正副理事会でとことん話し合ったことが、成功という結果で終われてよかったと感じています。  
副理事長という役を頂き、大変学びの多い一年間になりました。  
この経験を来年は監事という形で、一歩引いたところから、そして委員会メンバーとして委員会に返していきたいと思っております。  
皆様本当にありがとうございました。

（内海洋平）

まずは、安楽城理事長をはじめとします、正副事務局の皆様には大変お世話になりました。  
特に島田元太副理事長にはご迷惑しかかけていないと感じております。

## 第12回理事会 議事録

色々と親身に話を聞いていただいたり、時にはぶつかったりしましたが、一年間ありがとうございました。

森川副委員長にも支えていただき、副委員長が森川さんでよかったです。

委員長という時間を過ごさせていただき、考えっぱなしの一年だったように思います。

何パターンも考えて、ダメで、ということを繰り返していましたが、あれを行ってなければ何もなかったのだと感じます。

委員長のみannaにも、委員会メンバーにも助けてもらいました。

自分への学びにも、財産にもなりました。

来年も副委員長という立場で、頑張っまいます。

一年間ありがとうございました。

(森川陵)

2度目の副委員長でしたが、内海委員長をはじめ、メンバーの皆さんも素晴らしい方ばかりで、良くまとまった素晴らしい委員会であったと思っています。

なかなか、メンバーで共有できていた「やりたかったこと」が、伝わり切れてなかった部分があり、それは副委員長として至らない点がたくさんあったと思いますし、学びがたくさんありました。

自分の未熟さを再認識し、自分を知ることができた一年間でした。

こんな私ですが委員長に、「私でよかった」と言っていただき、大変ありがたいと思います。

来年も頑張っまいますので、どうぞよろしく願いいたします。

一年間ありがとうございました。

(大池慎三)

一年間、委員長をさせていただき、いろんな方にご迷惑をおかけしました。

理事会では、皆さんを一番ハラハラさせた人間だと思います。

最初は全く話せなかったんですが、今はこんなに話せるようになりました。

島田副理事長にはいろいろご迷惑をおかけしました。

私のわがまを色々聞いていただきました。

沼田副委員長、ありがとうございます。

以上です。

(沼田剛志)

昨年、一年間コロナを経験し、今年もコロナウイルスに振り回された一年で、皆様本当に苦労されたと思います。

当委員会でも紆余曲折ありながら事業を構築しました。

## 第12回理事会 議事録

それができたのも、大池委員長が突っ走って、委員会メンバーをまとめたからだと思っています。

ここにおられる皆様のご協力もあり、無事やり遂げることができました。

ありがとうございました。

(島田昌広)

安楽城理事長をはじめとする、正副事務局の皆様、一年間大変お世話になりました。

吉田副理事長にはいろいろと指導いただき、岡本副委員長にはたくさんアドバイスを頂いたのに、自分で整理できず、委員会メンバーにもうまく伝えることもできず、ふがいない期間が長かったと思います。

最後の事業を終えたときに、これだけ素晴らしいメンバーがいるのに、魅力を引き出せずにやってきた自分が情けないという気持ちになりました。

自分に力があれば、例会や家族会をもっと良いものにできたのではないかという風に反省もあります。

こういう経験を次年度に活かしていきたいと思います。

先ほど読み上げましたメールを頂いたときに、理事を受けてよかったと心から思いました。

ありがとうございました。

(岡本大輔)

皆さん、一年間大変お疲れ様でした。

委員会の活動をさせてくれた、委員会メンバーと皆様に感謝申し上げます。

コロナ禍で実施が難しい中、迷いながら苦しみながら、最後の事業を成功させた島田委員長にお疲れ様でしたと心からお伝えしたいです。

裏でどれだけ苦しんだか、迷ったか、僕は見ていたよ、と伝えたいです。

為せば成ると、改めて島田委員長から学ばせてもらいました。

ありがとうございました。

(山本恭平)

安楽城理事長、正副事務局の皆様、一年間ありがとうございました。

吉田副理事長、高山副委員長にはご迷惑しかおかけしていない一年間だったと思います  
が、2人にはものすごく引っ張っていただき、自分なりについていけたのではないかと感じております。

上手くは言えませんが、一年間通じて思ったのは「人と人との関わりが大切なのだ」ということを、学ばせてもらいました。

## 第12回理事会 議事録

これだけ大勢の心強いメンバーがいることを実感し、尾道青年会議所が素晴らしい組織であると感じられた一年間でした。

自分の弱さや、どういう風に成長すべきかを見せてくれた先輩に感謝し、自分も後輩にやるべきことを学びました。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

来年度も、自分の成長と、会のために精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

(高山敦好)

安楽城理事長をはじめとする、理事メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

卒業年に、山本委員長と吉田副理事長と素晴らしい事業に携われたことに心から感謝します。

吉田副理事長のいわれるように「泥臭く」、最後の事業を成功できたのではないかと思います。

私の中で、山本委員長が泣いているのを見たときに成功したのではないかと思えました。

理事会では色々と意見を言わせてもらいましたが、自分が委員長の時の事業を行う際に

「尾道青年会議所の看板」に助けられたと感じています。

今年は安楽城理事長を盛り立てたいという思いで、色々と私なりの意見を言わせてもらいました。

不快な思いをされた方もいるかもしれませんが、この場を借りてお詫びさせてもらいたいと思います。

最後に言いたいのですが、是非成功体験をしてほしいと思います。

失敗から学べることもありますが、成功した時にしか学べないことが絶対にあると思います。

成功するんだという思いで活動してほしいと思いますし、それができれば気持ちよく卒業し、卒業後も生きてくるのではないかと思います。

今年、山本委員長は写真集めをあきらめずやり切りました。

素晴らしかったと思います。

委員長が泥臭く、成功を求めて活動してほしいと思います。

以上です。

一年間ありがとうございました。

(吉田嵩正)

理事メンバーの皆様、一年間ありがとうございました。

事務局の皆様には色々とお迷惑をおかけいたしました。

## 第12回理事会 議事録

高升副理事長には厳しく、優しくご指導いただき、岡本副委員長には「吉田君のやりたいようにやったらいい」とどしっと支えていただき、委員会メンバーにも助けられながら、一年間やり切ることができました。

「とんぼ」の心を忘れずに、一年間できたのは皆さんのおかげだと思っております。

反省はありますが、後悔はありません。

次年度は明け年となりますが、副委員長のつもりで、そして拡大委員長を担当したものとして、今後も頑張っていきたいと思います。

一年間ありがとうございました。

(岡本正也)

安楽城理事長、副委員長という役を頂きありがとうございました。

吉田委員長のすごいところは、スイッチが入ると物凄い情熱をもって、それを通すために全力で頑張れるところだと思います。

来年は必ず副委員長以上に頑張ってくれると思います。

また、素晴らしい委員会メンバーにも恵まれました。

次年度の今岡理事長、セクレタリーの高垣君、委員長の半田君など新しい力を育てた委員長だと思います。

色々と勉強させていただきました。

来年で卒業になりますが、平岡委員長を全力で支えていきたいと思っています。

一年間ありがとうございました。

(小西琢真)

安楽城理事長、委員長という役を頂きありがとうございました。

一度はお断りしようと思いましたが、今は受けてよかったと思っています。

高升副理事長には、色々ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

中島副委員長には、中島さんの手が腫れるくらいおしりを叩いてもらいました。

感謝しております。

私には、まだ卒業例会が残っており、気が抜けませんが、一か月前の協議の際には理事メンバーの皆様に色々意見を頂きました。

このメンバーの時に委員長ができて良かったと思っています。

委員長の皆様には色々とお世話になりました。

自分の足りない部分をはっきりと分かった一年間でした。

最後までご協力のほどよろしく願いいたします。

次年度は半田委員長をサポートできるように頑張ります。

もっと早くから委員会メンバーを頼れば良かったと反省しておりますが、最高のメンバーに恵まれました。

## 第12回理事会 議事録

一年間ありがとうございました。

(中島裕一郎)

理事メンバーの皆様、一年間ありがとうございました。

また、総務広報委員会の活動にご協力頂き誠にありがとうございました。

私も2回目の副委員長でしたが、自分の中でまだまだだな、と学ぶことが多くありました。

卒業例会を控えている今が、一番委員会が緊張しています。

リハーサルを重ね、卒業生の皆様を感謝と敬意を持って送り出せるように頑張りますので、よろしくをお願いします。

ありがとうございました。

(歌一行)

安楽城理事長、専務理事という大役をいただきありがとうございました。

1年間、色々な経験をさせて頂きましたし、ご迷惑をかけることも多々ありました。

先輩方と色々なやり取りをさせて頂けたのは、人生において貴重な経験となりました。

また理事の皆様には委員会で議論して頂いた上程をいただき、ありがとうございました。

正副理事会では、コロナ禍ということもあり、厳しい意見も言わせて貰いました。

JCとして、より良い物を作りたいという思いからの発言だったとご容赦頂ければ幸いです。

事務局としても、判断が遅くなったこともあり、ご迷惑をおかけしたかと思えます。

申し訳ありませんでした。

他LOMと比べても良かったと思うのは、まずは新年例会をOBの方々をお呼びしてできたというのはとても良かったと思えます。

他LOMでは、オンラインや中止のところもありましたが、尾道では良いスタートが切れました。

途中、中止等もありましたが、11月には対外向けに事業ができたのは本当に良かったと思えます。

総務広報委員会は、卒業例会が残っており気が抜けないかとは思いますが、現役会員全員で良い会にしたいと思いますので、最後までご協力よろしくをお願いします。

1年間ありがとうございました。

(加藤雄大)

理事メンバーの皆様、1年間大変な中の活動お疲れ様でした。

安楽城理事長、事務局長という大役に抜擢頂きありがとうございました。

## 第12回理事会 議事録

安楽城理事長とは、私が委員長の際に副理事長という関係で活動させて頂きましたが、その時とはまた違う学びを今年得られたと思っておりますし、

今気がついて無くても、来年度以降の活動で気がつくこともきっとあると思っています。

このような機会をいただき感謝しております。

また歌専務とは、今年毎日のように電話等、会話させて頂きながら一緒に活動させて頂きました。

今年の最初に「委員長の皆様が思いっきり活動できるようにサポートさせて頂きます」という話をさせて頂いたと思いますが、私の方が気づかされたり学ばせて貰うことが多々ありました。

ありがとうございました。

今年の目標として「当たり前のことを当たり前に行っていこう」と思っていたのですが、皆様の協力は勿論、セクレタリーの二人の協力が無いとできないことが沢山ありました。

例年セクレタリーは3人体制だったのが、2人になるなかで、2人の頑張りのおかげで当たり前になったと思っています。

2人にはこの場を借りて感謝を申し上げます。

また、事務局員の越智さんも影で色々と皆様の事をさせてくださりましたので、どこかのタイミングでねぎらいの言葉を掛けていただければと思います。

一年間大変お疲れ様でした。

(加藤雅崇)

まずは安楽城理事長、私をセクレタリーに選んで頂きありがとうございました。

歌専務、加藤事務局長、水野セクレタリーには特に色々と助けて頂きました。

理事メンバーの皆様を、セクレタリーという一歩引いた立場から見させて頂きましたが、コロナ禍で本当に大変な一年間だったと思います。

本当にお疲れ様でした。

そんな中でも、皆さんが前に進もう進もうともがいて、その結果として様々な事業が目に見える形になったのを見ることができたのは、JC活動を超えた、私の今後の人生に大きな学びでした。

来年は65周年実行特別委員会の副実行委員長という大役をいただいておりますが、この一年の経験を必ず活かし、安楽城理事長の言われたように「芯」を作り、皆様がやられたように、私も必ずやりきります。

一年間ありがとうございました。

(水野春樹)

まずは正副事務局の皆様には大変お世話になりました。

## 第12回理事会 議事録

また、理事メンバーの皆様には、資料や設営に不備があったりと、ご迷惑をおかけしました。

セクレタリーを経験させて頂き、自分の未熟さを知った一方、理事メンバーの皆様の後ろ姿を拝見し、貴重な体験をさせて頂いたと感じております。

安楽城理事長のおっしゃる「粋」を学ばせて貰いました。

そんな中で、一つ、改めて大切にしたいことを見つけることができました。

「思いやり」がJCの活動をする上でも、大切であると感じました。

事業や例会を行う際には、色々な人に意見を聞きながら構築しますが、相手の気持ちをくみ取り、寄り添うという、思いやりが大切であると思いました。

まだ卒業例会が残っておりますが、前向きに楽しく頑張っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

一年間ありがとうございました。

21. 点 鐘：（安楽城大作）